

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 10. 10

下水道機構の『新技術情報』 第303号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

本日10月10日、やっぱり東京は快晴です！10月10日は過去の統計から晴れが多い日として知られており、オリンピック開会式当日も前日の雨模様の天気が一転して朝から快晴だったそうです。気象庁によると、10月10日に東京で1mm以上の雨が降った回数は、1966年から2016年までの51年間でわずか9回なのだそうです。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第303号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「地域バイオマスの展開」をテーマに、下水道新技術セミナーを11/17(金)大阪、11/28(火)東京で開催します
- ・専用サイト会員募集中！【対象者：公共団体、出捐団体、賛助会員の方】

■機構の動き

- ・今週は、10/12(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・天候不順（ペンネーム 機構子さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

- ・本日のゆいまーるは、まる子の大人の社会見学をお届けします！

■国からの情報

- ・10/6付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

- 「地域バイオマスの展開」をテーマに、下水道新技術セミナーを11/17(金)大阪、11/28(火)東京で開催します

下水道新技術セミナーは、下水道機構が国土交通省の委託を受けて作成した手引き等の利活用や国土交通省の下水道政策などをテーマに取り上げ、取り組み事例等も含め、地方公共団体及び民間企業等の技術者に広く情報提供することを目的に開催しているものです。

国より「下水処理場における地域バイオマス利活用マニュアル」が29年3月に発刊され、下水道事業から発生する下水汚泥のほか、地域における有機廃棄物を下水処理場に受け入れ、効率的に有効利用する「地域バイオマス利活用」の動きについて今後活発化が予想されます。また、地方公共団体においても先進的な取り組みが進められており、地域バイオマス活用実績も上がってきています。

当セミナーでは、今後の地域バイオマス利活用の参考としていただくため、日本大学の森田教授による「地域バイオマス活用の第一歩」の基調講演、国土交通省下水道部からは、下水道企画課の石崎下水道国際・技術調整官による「地域バイオマス利活用の促進に向けた国の取組（仮）」の特別講演をいただき、さらに先行都市である豊橋市と東京会場では石川県と中能登町、大阪会場では神戸市の事例紹介、及び当機構の取り組み等を紹介いたします。

※詳細及びお申込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

※【重要】セミナーテキスト代のお支払方法の変更について

テキスト代は当日のお支払いではなく、銀行振込に変更になりました。

当日の現金でのお支払いはできませんのでご了承ください。

振込先の情報は、申込完了メールに記載いたします。

●会員専用サイトをご存知ですか？【対象者：公共団体、出捐団体、賛助会員の方】

下水道機構では、ホームページ上に会員専用サイトを設けています。

専用サイトでは、①技術マニュアル（全文）、②技術資料（全文）は、過年度分を含め閲覧、ダウンロード可能です。③審査証明報告書（全文）は、概ね5年分が閲覧、ダウンロード可能となっており、新技術セミナー等の講習会、技術サロンの配布資料も閲覧、ダウンロードすることもできます。

メルマガ会員にはなっているけど、専用サイト登録はまだという方！この機会にご登録してみませんか？

専用サイトには、まる子のゆいまーるへの投稿機能もあります！皆さまからのご投稿もお待ちしています！

※会員専用サイトのご登録はこちら⇒

<https://www.jiwet.or.jp/member-registration>

※会員専用サイトとは⇒

<https://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2013/03/d4c0b0d917cdd04dfb8ca9dc5ca163e6.pdf>

※出捐団体、賛助会員の一覧はこちら

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第 363 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 10 月 12 日(木) 16:00~17:00

講演者：川崎市上下水道局 下水道部下水道計画課 担当課長 岩淵 光生 氏

テーマ：「アセットマネジメント情報システムを活用した川崎市下水道の事業運営」

※参加申し込みはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●行 事：第 2 回第 4 審査証明委員会

場 所：富山市

日 時：平成 29 年 10 月 13 日(金) 9:00~15:00

案 件：H29 年度新規申請案件の現場試験立会・審議

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●天候不順（ペンネーム 機構子さんからの投稿です）

今年の夏は7月は猛暑、8月になると長雨と低温という天候不順に見舞われました。9月は平年並みになったようですが、それでも、私の記憶では土日に、すかっとした青空のもと野外活動(草むしりです)にいそしんだ記憶がありません。もっとも、土曜日は二日酔いで寝ていることも多かったので天候のせいだけでは無いようですが。

それはさておき、10月に入っても、先週後半は寒波到来、この2、3日は逆に夏のような暑さで、気温の上下が激しいようです。今日は私は半そでシャツで出勤しました。もう10月の中旬だというのに。

でも、先週訪れた青森では、八甲田山の頂上が少し白くなっていました。毎日歩く通勤路も、夏の間は建物の影を拾って歩くのに苦労していたのが、今は建物の影も長く伸びています。ここ数日は、朝、玄関を出ると金木犀のすがすがしい香りが楽しめます。季節は確実に進んでいるようです。

平成29年度も折り返しを過ぎました。時間も確実に進んでいきます。後半戦も元気で楽しく過ごしたいものです。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●本日のゆいまーるは、まる子の大人の社会見学をお届けします！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-10-10>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2017. 10. 6 付 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

最近、街を歩いているといろんな木々の香りに出会います。職場の近くを歩くと銀杏のにおい。家の近くでは、金木犀。秋ですね～。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○下水道施設の維持管理及び処理水の再利用に係る法令遵守等の徹底について

～国土交通省水管理・国土保全局下水道部から各下水道管理者へ通知を发出～

(下水道企画課・流域管理官)

○「東京湾大感謝祭 2017」を横浜赤レンガ倉庫で開催します

(流域管理官・下水道広報プラットフォーム)

○第 3 回持続的リン利用シンポジウムのご案内 (早稲田大学総合研究機構リンアトラス研究所)

=====

○下水道施設の維持管理及び処理水の再利用に係る法令遵守等の徹底について

～国土交通省水管理・国土保全局下水道部から各下水道管理者へ通知を发出～

(下水道企画課・流域管理官)

今般、下水処理場の敷地内において、下水処理水の再利用のための配管（以下、「下水処理水管」という。）が水道の給水装置（以下、「水道給水管」という。）に誤って接続され、下水処理水が上水道に混入するという事態が発生しました。さらに、このことを受け、全国に緊急点検を要請したところ、別の下水処理場においても、下水処理水管と水道給水管の誤接続及び汚水ポンプの冷却水管への水道給水管の誤接続が判明しました。これらの事態は、設置当初は誤接続ではありませんでしたが、改造時に誤接合となったものです。また、「下水処理水の再利用水質基準等マニュアル」（平成17年4月、国土交通省）に誤接続防止が示されていますが、場内利用は対象外でした。

しかし、理由や事情の如何に関わらず、水道法に違反した対応であり、このような事態が発生したことは誠に遺憾です。そのため、10月4日付で下水道企画課長及び流域管理官の連名通知である「下水道施設の維持管理及び処理水の再利用に係る法令遵守等の徹底」を全国の下水道管理者に発出しました。

地方自治法に基づく技術的助言として、再発防止に向け、関係法令を遵守した施設の適正な維持管理及び再生水利用の徹底、誤接続防止等の技術的な対策の実施等を促しております。

○「東京湾大感謝祭 2017」を横浜赤レンガ倉庫で開催します

（流域管理官・下水道広報プラットフォーム）

多くの方に東京湾の魅力や恵みを楽しく体験・発見してもらい、東京湾のためにできることを考え、行動を始めるきっかけとなることを目的に、国土交通省が参画する「東京湾再生官民連携フォーラム」の活動の一環として、「東京湾大感謝祭 2017」を2017年10月20日から22日に開催します。（昨年は9万8千人が来場）

また、下水道広報プラットフォームでは、下水道広報の一環として10月21日から22日の2日間、下水道の役割をPRするブースを出展いたします。

昨年度、『『下水道』って『驚き！』～東京 WONDER 下水道～』を企画して初出展し、東京湾再生における下水道の役割や取組みをご紹介したところ、1,000人以上の来場者があり、「下水道って大事だということが改めてわかった」などの感想をいただきました。

今年度も「東京 WONDER 下水道 2017」と題し、産官連携により、東京湾再生における下水道の役割を広くアピールします。皆様、是非、ご来場ください。

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

東京湾大感謝祭 2017 公式サイト

<http://tbsaisei.com/fes/>

下水道広報プラットフォーム HP

<http://www.gk-p.jp/>

○第3回持続的リン利用シンポジウムのご案内（早稲田大学総合研究機構リンアトラ

ス研究所)

日本にはリンについて専門的に研究している国の機関はなく、リン情報を集約するため、わが国のリン関係の研究者・技術者を総動員し朝倉書店から「リンの事典」を出版いたしました。

その刊行に際して、リンのサイエンスと産業利用から持続的リン利用と社会の関わりまで、リン問題を俯瞰できる広範なトピクスを取上げて、わが国において持続的なリン利用がもつ意味を総合的に議論します。

<http://www.waseda.jp/prj-p-atlas/symposium2.html>

日時：2017年11月21日(火) 10:00~17:30

場所：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂(東京都新宿区戸塚町1-104)

プログラム

10:15-10:40 展望講演 Pイノベーション(大竹久夫 早稲田大学)

10:40-12:20 第1セッション リンのサイエンス

杉山 茂(徳島大学)、小野寺真一(広島大学)、黒田章夫(広島大学)、
竹谷 豊(徳島大学)

14:00-15:40 第2セッション リンの利用

菅原和夫(小野田化学工業(株))、國貞真司(三國製薬工業(株))、
佐藤和明(早稲田大学)、松八重一代(東北大学)

15:50-17:20 第3セッション 持続的リン利用をめぐる総合討論

講師全員

参加費：無料(事前参加登録が必要)

事前参加登録：お名前、ご所属およびE-mailアドレスをお書きの上、下記宛にE-mailにてお申込み下さい。

申込み先：早稲田大学先端生命医科学センター内 リンアトラス研究所

〒162-8480 東京都新宿区若松町2番2号、Tel: 03-5369-7325

E-mail: P-Sympo@list.waseda.jp

【参考情報】

◆韓国・釜山の海の絶景、下水処理場からの大量放水で黄色く濁る＝

「こんな所で海水浴はしたくない」「貝類は食べられないね」 〈9/29 エキサイトニュース〉

http://www.excite.co.jp/News/chn_soc/20170929/Recordchina_20170929051.html

◆日立システムズ、無線センサーでマンホール監視 〈10/4 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ021880600U7A001C1X1F000/>

◆カラフル「蓋」が人気 マンホーラーも増加 〈10/4 毎日新聞〉

<https://mainichi.jp/articles/20171004/k00/00e/040/223000c>

◆茨城県が新浸水想定区域 土浦市役所、被害の恐れ 〈10/4 茨城新聞〉

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=15070353601768

◆「戦艦大和」の故郷、マンホールカードが快進撃 〈10/5 読売オンライン〉

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20171004-0YT1T50108.html>

◆前橋市マンホールのふた10枚売却 当選者に引き渡し 〈10/5 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/list/201710/CK2017100502000207.html>

◆水道管で初のグッドデザイン賞 神戸市、断層用 〈10/5 神戸新聞〉

<https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/201710/0010614651.shtml>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
